

市議会だより

江東中学校 山本 はるな



2024.8
No.160

われら江東中生！

委員会の『新体制』決まる

令和6年6月定例議会が6月7日から24日までの18日間の日程で開かれました。監査委員に河野正行議員が選出されました。また、常任委員会、特別委員会の構成も決まりました。

人 事

監査委員（議会選出） 河野 正行

◎委員長 ○副委員長

総務民生委員会

◎下谷 忠広 ○坂手 洋介
石橋 孝義 森川 佳英 山根兼三郎
鍛冶恵巳子 植田 好雄 渡辺 信明

委員長あいさつ

総務民生委員会は、総務部門・民生部門・教育委員会・選挙管理委員会など多くの所管を抱えています。議案の審査だけでなく、各部門の抱える課題や問題を整理し、現地調査や先進地視察などといった手法も用いながら、調査研究を行い、課題解決の一助となるよう取り組んでまいります。



建設経済委員会

◎寺前 克宏 ○河野 正行
森脇 悦朗 藤間 義明 多田 伸治
坂田 優美 植田 圭介 森元 健二

委員長あいさつ

建設経済委員会は、市民部門・経済部門・建設部門・上下水道部門など、生活の根本を支えている社会基盤に関するものが多く幅広い分野です。

これらの所管での様々な施策をしっかりと調査し、誠心誠意かつ真摯に取り組んでまいります。



予算決算委員会

◎坂手 洋介 ○森元 健二 議長および監査委員を除く議員12人

委員長あいさつ

この度、予算決算委員会委員長に選任いただきました。予算および決算の審査は市政運営において最重要事項の一つであります。審査する分野は幅広く多岐にわたります。様々な視点をもって委員の皆さんと取り組んでまいります。

また、副委員長と協力し、しっかりとした議論はもちろん、スムーズな委員会運営を心がけてまいります。



常
任
委
員
会

議会運営委員会

◎河野 正行 ○坂手 洋介
石橋 孝義 多田 伸治 植田 圭介 鍛治恵巳子

地域医療対策特別委員会※

◎鍛治恵巳子 ○坂田 優美
森川 佳英 寺前 克宏
植田 圭介 森元 健二

※後任委員が決定するまで現委員が継続することとなりました

波積ダム対策特別委員会

◎石橋 孝義 ○森脇 悦朗
森川 佳英 植田 好雄
寺前 克宏 坂田 優美

江の川流域治水対策特別委員会

◎渡辺 信明 ○坂田 優美
議長を除く議員 13人

議会活性化特別委員会

◎坂手 洋介 ○下谷 忠広
議長を除く議員 13人

市議会だより編集特別委員会

◎坂田 優美 ○渡辺 信明
山根兼三郎 多田 伸治
鍛治恵巳子 坂手 洋介
植田 圭介

広報広聴特別委員会

◎森元 健二 ○森川 佳英
河野 正行 石橋 孝義
森脇 悦朗 植田 好雄
下谷 忠広 寺前 克宏

2つの組合議会についても選出しました。

江津邑智消防組合議会

森川 佳英 鍛治恵巳子 下谷 忠広
植田 圭介

浜田地区広域行政組合議会

山根兼三郎 多田 伸治 植田 好雄
坂手 洋介

議員の所属会派

市民クラブ

植田 圭介 植田 好雄

日本共産党江津市議会議員団

多田 伸治 森川 佳英

新政クラブ

森元 健二 渡辺 信明 坂田 優美
寺前 克宏 下谷 忠広 坂手 洋介
鍛治恵巳子 藤間 義明 河野 正行

創政クラブ

森脇 悦朗 石橋 孝義

無会派

山根兼三郎

(届出順)

(議席番号順)

令和5年度 一般会計補正予算(第9号)

3月31日 専決処分

承認

特別交付税などの交付額の決定および分担金・負担金・市債・事業費の最終調整などに伴い補正予算を計上。

予算額 ▲2億1754万円減(補正後総額183億5244万円)

令和6年度 一般会計補正予算(第1号)

可決

主に財源の関係から、令和5年度3月補正予算と当初予算で二重に計上していた事業を減額するもの

予算額 ▲7億8552万円減(補正後総額176億8848万円)

3月補正予算での執行に伴い減額される事業

事業名	内 容	金 額
浜田地区広域行政組合負担金	エコクリーンセンター基幹改良工事に伴う負担金	▲6億9260万円
地域医療支援対策	西部島根医療福祉センター電子カルテシステム整備補助	▲1億円
地場産業振興センター運営	地場産業振興センターのエレベーター更新実施設計	▲691万円

一般職人件費

企業版ふるさと納税の人材派遣型による特定任期付職員人件費

552万円

地域再生計画推進

波子駅リブランディング事業など

112万円

地域の活力創出事業

地域活性化センターによる地域活性化支援事業助成金

350万円

- 移住・定住・交流推進支援事業
石見なりわいブートキャンプ 200万円
(江津地域教育推進協議会)
- 地方創生に向けてがんばる地域応援事業
手前味噌づくりから味噌販売へ 150万円
(松平たすけ愛協議会)

委員質疑

問 市民の関心が高いものの情報が少ないが、新たな周知の取り組みがあるのか。

答 引き続き企業版ふるさと納税と人材派遣を受けることになった。周知方法は広報誌や市のHPを活用していく。また新聞や雑誌にも取り上げられている。



波子駅リブランディング事業の関係者

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

●消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例 (一部改正)

消防団員の損害補償(賞じゅつ金)の基準を定める政令の変更に伴い、条例を改正するもの

委員質疑

問

消防団員への周知は。

答

賞じゅつ金の内容に変更がないため、特に周知は考えていない。

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例(一部改正)

厚生労働省令で設備および運営の基準に変更があったため、家庭的保育事業での保育士などの配置基準を改正するもの

委員質疑

問

対象となる施設は。

答

市内で家庭的保育事業を行う施設は1カ所のみ。他の保育施設はすでに内閣府令により同様の改正がされている。

建設経済委員会

●所得税法第56条の廃止を求める意見書提出(陳情)

個人事業者の家族従業者について、社会的地位の向上や基本的人権を保障するため、所得税法第56条の廃止を求める意見書を政府へ提出するよう求めるもの

委員質疑

問

市内の家族従業者の状況は。

答

専従者控除の対象事業者は151人で、そのうち、家族従業者を控除対象としている数は166人。

●過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例(一部改正)

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法について省令改正があったため、課税免除の期限を令和9年3月31日まで延長するもの

委員質疑

問

対象となる設備や、免除額はどれくらいか。

答

令和6年度は4件、5538万3800円の免除としている。

本会議における賛成・反対意見

陳情第1号 | 所得税法第56条の廃止を求める意見書提出

賛成 多田 伸治

不採択

個人事業主から家族従業者への労働の対価を必要経費に算入させず、家族従業者の社会的・経済的自立を妨げる所得税法第56条の廃止を求める陳情。この条文のため、家族従業者は最低賃金よりはるかに低い処遇に置かれている。国連から差別的と勧告を受け、国の計画でも見直しが明記され、570以上の地方議会も廃止の意見書を提出している。地域経済を支える人を守るため賛成。

反対 渡辺 信明

法第56条の趣旨は「家族間の恣意的な所得分割による税負担の軽減を防ぎ、納税者間における税負担の均衡を図ること」とされ、その一方、法第57条において「事業に専従する親族がある場合の必要経費の特例等」を定めており、青色申告者となれば、事業に専従する親族に支払う給与の実額を必要経費に算入することが認められている。経済社会状況の変化などを踏まえ、仕組み見直しの声が出ていることは承知しているが、本陳情は所得税法第56条の廃止を求めており反対。

反対 植田 圭介

陳情の趣旨については同意するが、陳情に対する議会の意思決定は採択か不採択の2種類しかなく、江津市議会では陳情などの願意を汲み取る趣旨採択を設けていない。また、江津市議会では全会一致による採択でなければ意見書を提出できない。今回の陳情は、課題の解決方法として所得税法第56条の廃止を主としているが、法の廃止に伴う租税回避などの懸念に依拠せず、全体の理解を得られないことから反対。

同意第5号 | 監査委員の任命

反対 山根 兼三郎

同意

組織で決定権を持つ者が監査委員を兼任すると、公正性、客観性、第三者性を担保することができない可能性がある。市長提案は、すでに議会運営委員会の委員長が決まっている人物に、監査委員を兼任させるもの。本市監査基準第3条には「監査等の目的は、市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し…」と明記されている。監査委員と、市議会の運営に関わる委員長とを兼ねることは、市政の独立機関である監査委員会として、あるべき健全性および透明性を損なう恐れがあり、適切ではないことから反対。

意見第4号 | 年金制度の充実を求める意見書の提出

反対 坂手 洋介

否決

意見書にある全額国庫負担による「最低保障年金制度」の早期に実現することについて、これまでも様々な場面で議論されてきた経緯もあるが、実現するためには、財源確保の見直しを含めた議論が必要であり、早急を実現することは現段階で難しいと考える。また「マクロ経済スライド」は将来の現役世代の過重な負担を回避し、年金制度を持続的なものとするため、その負担の範囲内で給付水準を自動的に調整する仕組みである。

年金制度は今後も情勢を注視しながら、世代別の給付と負担、および年金財政の持続可能性などバランスをとりながら、皆が納得できる方向へと進んでいくことは必要であるが、今回の意見書の提出に関しては反対。

賛成 多田 伸治

3月定例会で「地方議員の年金を、国民年金から厚生年金へ移行させて」との国への意見書案に、共産党は反対したが多く議員が賛成した。一方、年金全体の底上げを求める意見書案に、ここまでの議論では反対が多数。これでは議員自身の年金は心配するが、国民全体の年金充実には反対ということになる。年金受給者からも現役世代からも将来不安の声がある。誰もが安心できる年金制度のため、議員以外のことも考えるべき。

賛成 森川 佳英

意見書案は、年金制度について、①最低保障年金を実現させること、②年金を目減りさせるマクロ経済スライドを見直すこと、③年金受給開始年齢をこれ以上引き上げないこと、④現役世代の所得増で年金保険料を払える環境を整えることの4点を国に求めるもの。年金受給者のみならず現役世代が、将来安心できる年金制度へ不可欠な内容であり賛成。

議決結果【第2回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
議案番号	件名	議決結果	健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
執行部提案	同意第4号 功労者の選定について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第5号 監査委員の任命について	// ※2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥※1
	承認第2号 専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第3号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第4号 専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号 特別功労者を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第29号 江津市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第31号 江津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第32号 江津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第33号 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号 江津市地域経済率引事業の促進を重点的に図るべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号 令和6年度島根県江津市一般会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	陳情第1号 所得税法第56条の廃止を求める意見書提出に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●
議員提案	意見第3号 新型コロナ後遺症及び新型コロナワクチン後遺症への対応強化を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見第4号 年金制度の充実を求める意見書の提出について	否決	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	●	●	○

議長職は表決権なし

※1 地方自治法第117条により除斥

※2 可否同数により議長採決(地方自治法第116条第1項)

請願第1号「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出に関する請願」は、審査が終了しなかったため継続して審査を行うことになりました。

意見書を提出しました

新型コロナ後遺症及び新型コロナワクチン後遺症への
対応強化を求める意見書(要旨)

新型コロナ感染症が5類に分類された後も、後遺症に苦しむ人が多いことが、厚生労働省研究班の大規模調査で明らかになってきた。よって、国におかれては、悩んでいる患者に寄り添い、下記の事項の実現を強く求める。

1. 相談体制を整備し、後遺症の適正な認定および多様な症状に対応する専門医かかりつけ医が連携した複合的な支援体制を構築すること。
2. 失業や休業を余儀なくされた方に、経済的な支援として療養のための補償制度を創設するとともに、相談や就労支援を強化していくこと。
3. 後遺症への理解とその啓発を行うとともに、社会全体で認識を深め、患者が孤立することがないよう社会的認知度の向上に取り組むこと。

一般質問

市議
の

市
の

A

Q
&

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市議会
公式YouTube
チャンネル



※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。

また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。（ただし掲載は次期定例会の前になります）

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

Q. 【庁内連携】

市民から「市役所でたらい回しにされた」との声がある。庁内連携をどう認識しているか。

A.

全国で医師不足が叫ばれるなか、国に求めているけれども、県や個々の医師へ働きかける。

Q.

「国への働きかけより」と言うなら、国には求めないのか。

A.

国への働きかけより、県や個々の医師とのやり取りが重要。本市として職員1人を済生会へ派遣し、支援している。

Q.

済生会は、総合診療医の育成・招致の仕組みをつくることの方針だが、済生会のみでの実現は困難。市長が持つ「国とのパイプ」は活かされるのか。

A.

国への働きかけより、県や個々の医師とのやり取りが重要

Q.

医師確保対策で市長の「国とのパイプ」は活かされるのか



済生会江津総合病院

A.

限られた人員で動いており、間違った案内をしているわけではない。

Q.

改善と言うが、職員には相談に来た市民に寄り添う意識が必要。そういった認識はあるか。

A.

人員が少ないため、担当課へ取り次いだり、出向いてもらったりすることもあるが、できる限り不便がないよう改善を図りたい。



多田 伸治



Q 江津市教育大綱における教育ビジョンは

A ふるさと江津を愛し、豊かな心で、明日を創る人



坂手 洋介

Q 教育ビジョンについての教育

長の認識は。

A 子どもたちには、自分自身の夢や志をもって、その実現に向かって自ら進んでいく力や、様々な困難にも立ち向かっていく力を身につけるとともに、相手の立場にたって考えることのできる思いやりを持った大人に成長してほしい。

Q これからの本市において、

重点をおく教育施策は。

A 個別最適な学びや協働的な学びの実現を図るための授業改善があり、ICT活用による主体的・対話的で深い学びに導く。また、コミュニティ・スクール制度導入の推進により、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

【部活動の地域移行】

Q 部活動の地域移行について、今後の対応は。

A 島根県では検討委員会を立ち上げ「新たな地域クラブ活動の在り方等に関する基本方針」を令和6年度中に策定する予定。本市は「江津市部活動のあり方に関する方針」の改定に向け、協議を行っている。

今後は部活動の地域移行に向け協議会を立ち上げる予定。



土・日に集まり練習する島根水球クラブ

Q 不登校が増えている状況で原因の分析はできているのか

A 原因を一つに特定できないケースが増えてきている



下谷 忠広

Q 校内教育支援センターの設置

状況は。

A 教職員の働き方改革の中で、教員不足の状況。あおぞら学園や居場所事業、スクールソーシャルワーカーと連携して対応する。

Q 民間と教育行政が連携し、不

登校の子どもたちの居場所の貧困を解決していくべきでは。

A フリースクールに類した民間の活動があるが、児童・生徒の学校復帰へ連携していきたい。

【小・中学校の図書室】

Q 学校図書室の役割とは。

A 児童・生徒に読書の楽しさを伝える、主体的な学習活動支援、教員の授業改善や資質向上への支援、そして子どもたちへの居場所提供や家庭・地

域での読書活動の支援を行う。

Q 学校図書室での図書標準の蔵

書数の達成状況は。

A すべての小・中学校において100%以上。

Q 学校図書室への司書の配置状

況は。

A すべての小・中学校に学校司書を配置している。



小学校の図書室風景

Q

人口戦略会議が示す「消滅可能性都市」からの脱却への認識は

A

一喜一憂することなく、危機感を持ち、人口減少対策に臨む



渡辺 信明



Q

人口減少対策として、今後の婚活事業で検討していることは。

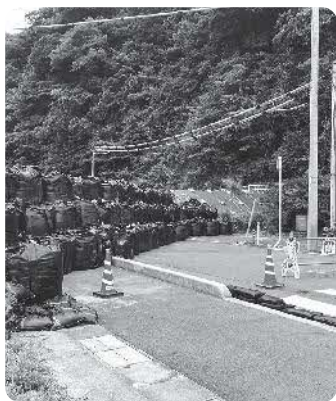
A

出会いの場創出へ「江津はぴこ会」との連携強化や婚活イベント支援など。イベントでは近隣市町との広域連携を推進。

【水害対策】

Q. 出水期の水害対策は。

A. 国・県が川越地区の堤防仮締切・排水ポンプ車操作訓練などを行う。本市では従来対策に加え、桜江5地区の防災計画を策定。



川越地区の堤防仮締切

【市営住宅の条件緩和】

Q. Uターナー者増加へ、市営住宅の入居条件緩和は可能か。

A. 公営住宅法に基づき江津市営住宅管理条例を定めており、一部の特例を除き困難。

【起業家教育】

Q. ビジネスプランコンテストを活用した起業家教育は可能か。

A. ノウハウ導入の研究を学校や地域の協力で取り組み中。

【有機給食無償化】

Q. 本市の魅力向上と生産者の所得安定のため、有機野菜を使った給食無償化は可能か。

A. 生産量・価格の課題克服後に改めて検討したい。

Q

「道路の白線が消えている」との市民の声への対応は

A

現地の状況を確認した上で対応する

Q

5月に行った『市民と語る会』で数件あった「道路の白線が消えている」との声への対応は。

A

A. 道路パトロールの報告や住民からの通報があった場合、現地確認を行った上で対応している。また、住民からの情報提供の方法として、電話やメールのみならず、本市LINE公式アカウントによる通報もできるよう準備を進めている。



消えかけている白線

【風力発電】

Q. 風力発電事業への苦情を訴える声もあった。政策企画課へ相談すればよいのか。

A. 市内の風力発電施設は、全て民間もしくは県企業局の所有。地元住民から意見などが寄せられた場合には、風力発電事業者に伝えることや、地域との意見交換を促すなどの対応は可能。

【市内の臭気】

Q. 本市が行っている物質濃度による臭気強度の調査では、異常値が出ていないが、近年は臭気指数Ⅱ嗅覚測定法を取り入れた自治体が増えている。測定方法の変更を。

A

A. 現時点では考えていないが、より適切な測定ができるよう総合的な観点で考える。



山根 兼三郎





市役所前ソロブチ花壇に咲くルービンの花（東串良町花）

A.Q.
今後の交流は。

令和6年の夏は、東串良町の小・中学生が本市を訪問し、交流する事業を計画。

A.Q.
東串良町はどんな町か。

人口6400人、志布志湾に面した白砂青松の美しい景観で、農業と畜産業の町。

A Q

鹿児島県東串良町との交流は

自治体間連携協定を締結



河野 正行



【県立高校新設】

A.Q.
新設高校に対する期待は。

未来を見据え、選択肢を広げ、より良い教育環境に期待。

【石見神楽の振興】

A.Q.
振興への取り組みは。

各神楽団体へのヒアリングを実施し、課題を把握する。

【脱炭素社会】

A.Q.
再生可能エネルギーの導入容量は。

市内再生可能エネルギー施設の年間発電量は、本市・大田市・浜田市・邑智郡の全ての世帯年間電力使用量に相当。

A Q

県への地域医療対策の要望は

これまで以上に浜田保健所の調整機能を強化するよう要望

A.Q.
改めて設置された江津市地域医療対策支援協議会の役割は。

割は。

A.
地域医療体制確保には、医療機関・関係団体・行政・市民

が一体となつて取り組む必要がある。協議会で地域医療の現状への理解を深め、それぞれの立場で何ができるか検討してほしい。

A.Q.
希望者は協議会へ参加することが可能か。

A.
現委員のほかに、意見を聞くべき団体があれば、アドバイザ・オブザーバーを置くことは可能。場合によっては新たな委員の就任もあり得る。

【公共サービス労働者環境】

A.Q.
管理職も含め、職員の残業の状況と対策は。



江津市役所

A.

時期的なものや事業の取り組みによって、長時間勤務となっている実態がある。令和6年より導入したシステムで、より詳細な実態を確認する。

A.Q.
県内で本市のみ、会計年度任用職員の一時金支給要件が厳しいが、見直しは。

A.
違いは認識している。見直しを検討する。



植田 圭介



Q オーガニック給食
保育所へも供給を

A 現状の聞き取りをし
保育所の需要に応じる

Q 母子手帳アプリの導入まで、
子育て情報にいち早くたどり
つけるよう、本市LINE公
式アカウントの活用を。

A 本市LINE公式アカウント
で、子育て関連の情報充実に
向け協議を重ねている。受け
取る情報を取捨選択できる
配信を7月から予定してお
り、子どもの年齢に合わせた
情報提供が可能となる。

【公平委員会】

A **Q** 相談があった場合の流れは。
本市の相談窓口は、基本的には
人事課。事案によって困難な場
合、公平委員会に相談できる。

A **Q** 本市と江津邑智消防組合での
相談の流れの違いは。

消防組合は、本市と違って労
働組合の結成が認められない



鍛冶 恵巳子



が、消防組合には消防職員委
員会が設置されている。

【有機農業の推進】

A **Q** 規格外の農産物でも、カット・
冷凍加工で活用できないか。

令和5年度に有機ブロッコリー
の栽培実証を行い、冷凍加工
したところ大好評だった。県・
JAと有機栽培の技術向上・
栽培面積拡大に取り組みたい。



有機ブロッコリー栽培現地勉強会

Q 学校給食の無償化を

A 年間9000万円かかるため
今後も保護者に負担してもらう

Q 学校給食の保護者負担は、義
務教育期間で50万円以上。無
償化の財源として、財政調整
基金の活用が考えられるので
はないか。

A 財政調整基金は「経済事情の
変動で、財源が不足する場合
に、不足額を埋める」「災害で
生じた経費・減収分を埋める」
「建設事業の経費の財源に充
てる」「行政財産の取得などの
経費に充てる」と条例で定め
ており、学校給食無償化での
活用は不適切と考える。

A **Q** 全国的には財政調整基金を活用
して無償化しており、不適切で
はないと思うが、ほかの財源は。

給食無償化には毎年度900
0万円が必要で、財政健全性が
保てなければ、ほかの行政サ
ビスの水準維持が危ぶまれる。



森川 佳英



A **Q** 学校給食無償化の費用は、本
市の一般会計予算184億円
の1%にも満たず、決算は毎
年度数億円の黒字。学校給食
無償化を実施できないか。

学校給食の経費負担は、学校
給食法・学校給食法施行令で
規定され、食材費を給食費と
して、保護者負担としている。
今後も保護者に負担してもら
う。

江津市の財政状況

年度	実質収支額	基金残高
平成30年度	5億1818万円	58億3361万円
令和元年度	3億3571万円	55億2423万円
令和2年度	5億4850万円	54億 592万円
令和3年度	6億2639万円	54億3569万円
令和4年度	8億4263万円	62億3578万円

※実質収支額＝年度ごとの黒字額
※基金残高＝江津市の貯金残高

Q

海岸浸食と汀線管理の保全是は

A

浸食されないよう計画的な事業実施を県に要望する

A.Q.

黒松から波子の浸食現状は。

黒松漁港から浅利漁港までの浸食が著しい。また、和木から波子までは都度対策しているが、変状しているところもある。

A.Q.

浸食と汀線管理は。

全域で海岸浸食が著しい。県に汀線管理の注視を要望する。

Q.

本市海岸全域で「海岸保全区域」の指定が必要ではないか。

今後、汀線の状況を踏まえ、県と協議する。

【有害鳥獣による被害】

A.Q.

有害鳥獣による被害状況は。

農業被害面積および被害額は、イノシシ・ヌートリアで計3・8haの169万円、カワウ・サギで659万円の被害。



浸食が進む海岸線

A.Q.

防護柵と罟の設置は。

耕作地を囲むものと地区全体を囲むものの防護柵設置への支援制度がある。

Q.

狩猟免許取得や猟友会入会への支援は。

事前講習会受講料は対策協議会へ全額補助するが、条件がある。他は現時点で考えていない。

A.



石橋 孝義



Q

ヤングケアラーを把握しているのか

A

人権アンケート調査で確認した範囲では本市にはいない

Q.

ヤングケアラーは「現状から逃げたい」というより「私になんとかしなければ」と頑張るだけに、的確に把握し、寄り添った支援が求められる。

A.

負担軽減の支援はあるのか。福祉関係と連携し、介護保険サービスや障がい者福祉サービスに繋げ、サービスの調整で負担軽減を図る。また「自分一人でない」という安心感を与えることも重要。

A.Q.

相談窓口の設置を。

子ども若者総合相談窓口や国の24時間子どもSOSダイヤル、チャイルドホットラインがある。本市で特化した相談窓口は設置しない。

Q.

ヤングケアラーコーディネーターの配置や養成が必要ではないか。



植田 好雄



A.

スクールソーシャルワーカーや教育委員会の指導主事が行っており、必要性はなく設置しない。

【普通財産施設の扱いと図書館建設】

A.Q.

旧庁舎への問い合わせは。建築的意見や譲渡希望はない。

Q.

旧庁舎を解体し、丸子山公園と一体とした図書館建設を。

A.

現状の課題を踏まえ、整備場所を含め検討を進める。

Q.

旧跡市小学校の利活用は。

A.

地元と協議し対応する。



地元住民の愛着ある旧跡市小の校舎

Q 国スポ開催に向け
機運の醸成が必要では

A 競技の認知度を上げ
興味をもつ取り組みが必要

Q 水球競技を行う市民プールは
耐用年数が過ぎていると思う

が大丈夫か。

A 長寿命化計画見直し業務によ
ると、処分制限期間は30年。健
全度は上から2番目のB判定
であり使用としては問題ない。

Q ラグビーフットボール競技は、
多目的広場を使用とのことだ

が、相当の改修が必要では。

A 現在のところ、トラック内側
を芝生化し、他の施設は仮設
での対応したい。令和6年
度、中央団体の視察が予定さ
れ、その結果を踏まえ改修内
容を検討する。

【文化芸術の推進】

Q 伝統芸能技術の継承につい
て、具体的な取り組みは。

A 国の指定重要文化財の大元



昭和57年くにびき国体

※2024年国体→国スポへ名称変更

Q 文化芸術に触れる機会の創出
についての取り組みは。

A 再興院展において「本物の絵
を見てもらいたい」との思いか
ら、市内児童・生徒へ、学芸
員による解説付きの観賞会や
今回出展している画家による
絵画教室を実施した。



森脇 悦朗



Q 公園の公衆トイレの状況は
令和4年の質問から進展があったか

A 設置数の変更はないが衛生環境と
利便性の向上を図っている

Q 市内に設置されている公園の
トイレの現状把握と認識は。

A 現在7割が汲み取り式で改善
が必要と認識しているが、水
洗化には多額の工事費が必要。
利用形態や必要性などを
検証・検討する。

Q 民間団体へ委託している管理
方法に、問題や対策は。

A トイレ衛生面の改善や手法に
ついて検討したい。清掃頻度
を上げるなど環境保持のため、
協力団体などがあれば積
極的に働きかける。

Q 黒松海岸周辺はアニメの聖地と
して有名になり、海洋スポーツ
にも適することから来客が増加
中。新たなトイレ設置の考えは。

A 駐車場も確保されていない現
状では、多くの観光客を集客



坂田 優美



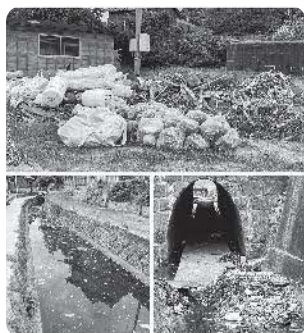
【海洋漂着ごみ】

Q 海岸の漂着ごみへの認識は。

A 海岸漂着ごみが河川や水路
を遡上し居住地の環境悪化
を招き、地域住民がごみ処理
に苦慮している問題は認識し
ている。

Q 対策や講じられる措置は。

A 現段階では抜本的な対策は困
難。引き続き効果的な対策方
法について情報収集を行う。



黒松地区への漂着ごみ

議会報告会(第17回)

5月11日から22日にかけて、議会報告会を市内全域のコミュニティ交流センター(20カ所)において実施しました。6月定例会では、それをもとにして一般質問も行われました。

約200人の皆様にご参加いただき、また、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。次回の「市議会だより」には、より詳細な内容を掲載させていただく予定です。



市議会DXの取り組み

江津市議会ではDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取り組みを進めています。議員にタブレット端末を貸与し、6月議会定例会から本会議や委員会などで使用を始めました。タブレット端末を使いながらの会議は、多少の戸惑いもありましたが、各議員それぞれ使いこなしているようです。資料の閲覧だけでなく、様々な使い方で議員活動に役立ってます。



第100回全国市議会議長会定期総会が開催されました

5月22日、第100回全国市議会議長会定期総会が東京国際フォーラムにおいて、開催されました。全国から総勢768人が出席し、本市からも議長、事務局長が出席しました。全国の市区議会議長会の要望を取りまとめ、国へ要望を働きかける重要な総会です。

会長挨拶で、こども・子育て政策の強化や福祉・医療サービスの充実、デジタル田園都市国家構想・地方創生の実現、頻発する大規模な自然災害への対応や強靭な国土づくりなどについて不断の取り組みを進めていく必要性を強調し「地域の実情に沿ったきめ細かな行政を提供していくためには地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保が不可欠」と強調されました。

本市からは島根県8市の代表要望の一つとして「地域医療の危機を救う施策の早期実施について」を要望しましたが、残念ながら、中国市議会議長会において次席要望となり、全国での要望対象にはなりませんでした。



政治倫理審査会を開催しました

本市議会では、議員が市民の代表として人格と倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に行使して、自己または特定の者の利益を図ることがなく、市民に信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的に、江津市議会議員政治倫理条例を定めています。

この度、条例で定める政治倫理基準に反する疑いが認められる議員があるとして、令和6年1月24日付で5人の議員から議長に対し審査請求があり、1月15

日に審査会が設置されました。

審査会は1月30日から3月14日にかけて5回にわたり審査を実施。審査の結果、政治倫理基準に反する行為があったと判断し、令和6年3月29日に審査結果を議長へ報告しました。

審査請求および審査結果や、被審査議員の弁明、審査結果を受けての措置の内容については議会事務局へお問い合わせください。

地域医療対策特別委員会

5月24日、益田市議会を視察しました。

益田市議会では江津市議会と同時期に地域医療対策特別委員会を設置し、市民・行政・医療機関の3者がお互いに協力しながら医療問題に立ち向かっていく体制を構築しました。現在、益田市では医師の確保など市全体で課題を共有して取り組みを進めています。

今後は、視察結果を踏まえ、江津市で取り組める内容について検討していく予定です。



波積ダム対策特別委員会

5月16日、令和6年6月1日から運用開始予定の波積ダムを視察しました。平成30年12月15日に本体建設工事が始まり、試験湛水開始後令和6年4月23日常時満水位到達。昭和43年度に予備調査が始まって以来半世紀、56年の歳月を経て、念願の運用開始を迎えました。

管理用道路工事などは残りますが、梅雨に長雨が続く季節でも、地域住民の方々が安心して過ごせるようになったのは喜ばしいことです。



次回9月定例会

請願・陳情締切／8月23日正午まで

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26 委員会 (議会運営) 9:30～	27 全員協議会 9:30～	28	29	30 委員会 (議会運営) 15:00～	31
9/1	2	3 本会議 10:00～	4	5 議員連絡会 9:30～	6	7
8	9 本会議 (一般質問) 10:00～	10 本会議 (一般質問) 10:00～	11 委員会 (総務民生) 9:30～	12 委員会 (建設経済) 9:30～	13 委員会 (予算決算) 9:30～	14
15	16	17 委員会 (予算決算) 9:30～	18 委員会 (予算決算) 9:30～	19 委員会 (予算決算) 9:30～	20 委員会 (予算決算) 9:30～	21
22	23	24 情報交換会 9:30～	25	26 本会議 14:00～	27	28

※開始時間は予定です。

議会を傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう

市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することが出来ます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 藤間 義明

■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂田 優美

副委員長 渡辺 信明

委員 植田 圭介

委員 坂手 洋介

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治

委員 山根 兼三郎

市議会だよりは
こちらから



私この度議会だより編集委員長を拝命しました。性質上あまり大きく紙面の変更はできませんが、他編集委員の協力のもと、できるだけわかりやすく皆様にお届けできるように心がけて発行します。二年間よろしくお祈いします。
(坂田 優美)



編集後記

気候変動が激しく、寒暖差に身体がついていくのがやっとなのは私だけ？この時期生き生きしているかたつむりを横目に見ながら、「今日は水撒きせんでもええかなあ」なんて忙しい毎日の中で、庭を見ては一本二本とつい草むしり。